

志

Kokorozashi

学校だより 第8号

令和7年11月19日発行

内外海小学校



Let's make our DREAM Come True

魅せた 聴かせた 音楽会

11月12日、小浜市小中音楽会が開催されました。内外海小学校は4、5年生児童が学校の代表として「銀河鉄道999」の合奏をしました。

これが、よかった!本当によかった!保護者の皆様はもちろん、内外海地域の皆様に聞いていただきたい発表でした。

何がよかったのかと言いますと、子どもたちから

- ① 大丈夫
- ② 出し切った
- ③ 楽しい

というパッションが感じられたからです。聞いている人に思いがズバツと届いていました。子どもたちの①大丈夫②出し切った③楽しいが凝縮された演奏について考えてみました。

「大丈夫」の感情は、これまでの十分な練習を積み重ねてきたからこそ生まれたものだと思います。朝、休み時間、放課後など自主的に練習していましたし、誰かが練習し始めると、それに合わせて加わる子もいました。校長室にいても届いてくる音は、努力の音色でした。そのため、ステージに上がったときに、「これだけ練習してきたのだから、私たちは大丈夫」という自信が感じられました。

また、一人一人が自分の力を出し切っていました。みんなで仕上げるこの曲のために、一人一人が力を出し切る姿は、本当にかっこよかったです。音を合わせるという練習を通じて、息を合わせ、心を合わせていったように思います。

何よりうれしかったのは、「楽しい」が子どもたちの姿からあふれていたことです。やりたい、やっていて楽しいという感情ほど強いものはありません。子どもたちが夢中になって演奏しているのは、とても美しい姿でした。

演奏中、私は客席にいましたが、子どもたちの思いにひきつけられ、涙が出ました。内外海っ子の潜在能力を見たように思います。子どもたちはやり切ったすがすがしさをにじませながら帰校しました。子どもたちはおうちでこの経験をどのように話したでしょうか。

学校では、これからもこのような心が動く、心を動かす学習活動を充実させ、成長につなげていきたいと思っています。

保護者の皆様には、いつも子どもたちへの励ましとサポートをありがとうございます。

保護者の皆様には、いつも子どもたちへの励ましとサポートをありがとうございます。



お願い

学校だよりに関するご感想やご意見などございましたら、以下のリンクまたはQRコードよりご入力ください。いただいたご感想等は学校だよりに掲載させていただく場合があります。



<https://forms.gle/nZ1e4j3LQP9eBw829>

12月の予定

2・3日(火・水) SASA(県学力調査・5年生)
3日(水) 市の研究会のため14:50下校
11日(木) 薬物乱用防止教室(6年)
19日(金) 2学期給食最終日 14:50下校
22日(月) 2学期保護者会 11:50下校
23日(火) 2学期終業式 11:50下校
24日(水) ~1/7(水) 冬休み

子どもの支援を考える

特別支援教育コーディネーター ○○ ○○

先日、「助けて」が言えない子の援助要求スキルを高めるには?というテーマで教職員研修を行いました。その中で、「助けて、分からない、どうしていいか分からない等の負の感情を出すことはエネルギーが要るので、楽しいことやプラスの気持ちを出せるところから大切にしていきたい。」「子どもが助けてのサインを出す前に先回りして準備しすぎないことも大切」などの支援のポイントについて再確認しました。

子どもの支援を考える際、行動の後ろ側をくみ取ったり、その行動に至った背景を考えたりすることが大切です。学校や家庭、地域が協力してお子さんの成長を見守るときに、子どもの行動の背景についても一緒に考えていけたらと思います。



職員より一言

5年担任 ○○ ○○

「先生、できたよ!」、「先生、がんばったよ!」

子どもたちと一緒に過ごしている中で、耳にして一番うれしい言葉です。

私は内外海小学校に来てから、毎年1、2年生の体育を担当しています。水泳、マラソン、縄跳び・・・あらゆることに対して「できた!」、「がんばった!」が飛び交います。そして、それが増えていきます。その声を聞いたときにその素直な自己主張がステキだなあと感じます。

ただ、高学年になるとそうもいきません。できることが増えていき、当たり前になっていき、「もっとできる」、「もっと頑張れる」になってしまいます。ちなみに、前任校の中学校でも生徒たちから「できた!」、「頑張った!」という声を直接聞いたことはほとんどありません。だからこそ、内外海に来て1、2年生の「できた!」、「がんばった!」が飛び交った時は衝撃でしたし、とてもうれしい気持ちになりました。

さて、この話を書きながら私自身も「できた!」、「がんばった!」を言いたくなりました。低学年の子たちはもちろん、高学年の子たちにも言ってほしくなりました。「できた!」、「がんばった!」という言葉は、言った本人もそれを聞いた人もうれしい気持ちにするステキな言葉だと思います。そんなステキな言葉であふれる子どもたちとこれからも一緒に過ごしていきたいです。保護者の皆様、ぜひ子どもたちの「できた!」、「がんばった!」をおうちでも聞いてあげてください。よろしくお願いいたします。